

方便法身尊形

- 所在地 大藪1865番地 円楽寺
- 指定年月日 町指定 絵画 昭和57年11月15日
- 時代 文明17年(1485)6月24日
- 作者 裏書書 蓮如上人 直筆

初代釈敬傳は、山科にて蓮如上人の弟子となり尊形^{そんぎよう}を拝受した。

真宗寺院の宗祖親鸞は名号を本尊としていたが、その後、阿弥陀如来の御絵像が本尊に代わった。
方便法身尊形^{ほうべんほつしんそんぎよう}は御絵像のことで通称「だいほんさま」と云う。

円楽寺は、天台宗であったが、釈敬伝が真宗に改宗し、蓮如より下付されたのがこの御絵像である。
御裏書に「本願寺蓮如文明17年(1485)6月24日尾州中島郡大藪村願主釈敬伝」と記されている。円楽寺は当時尾張国であったこともわかる。

尊形は足を揃えた正面像を大きく描き背光は48の誓願にならって48、印相は攝取不捨印、きわめて静的、平面的であるが、精密丹念な執筆で荘重感の深いものである。



方便法身尊形